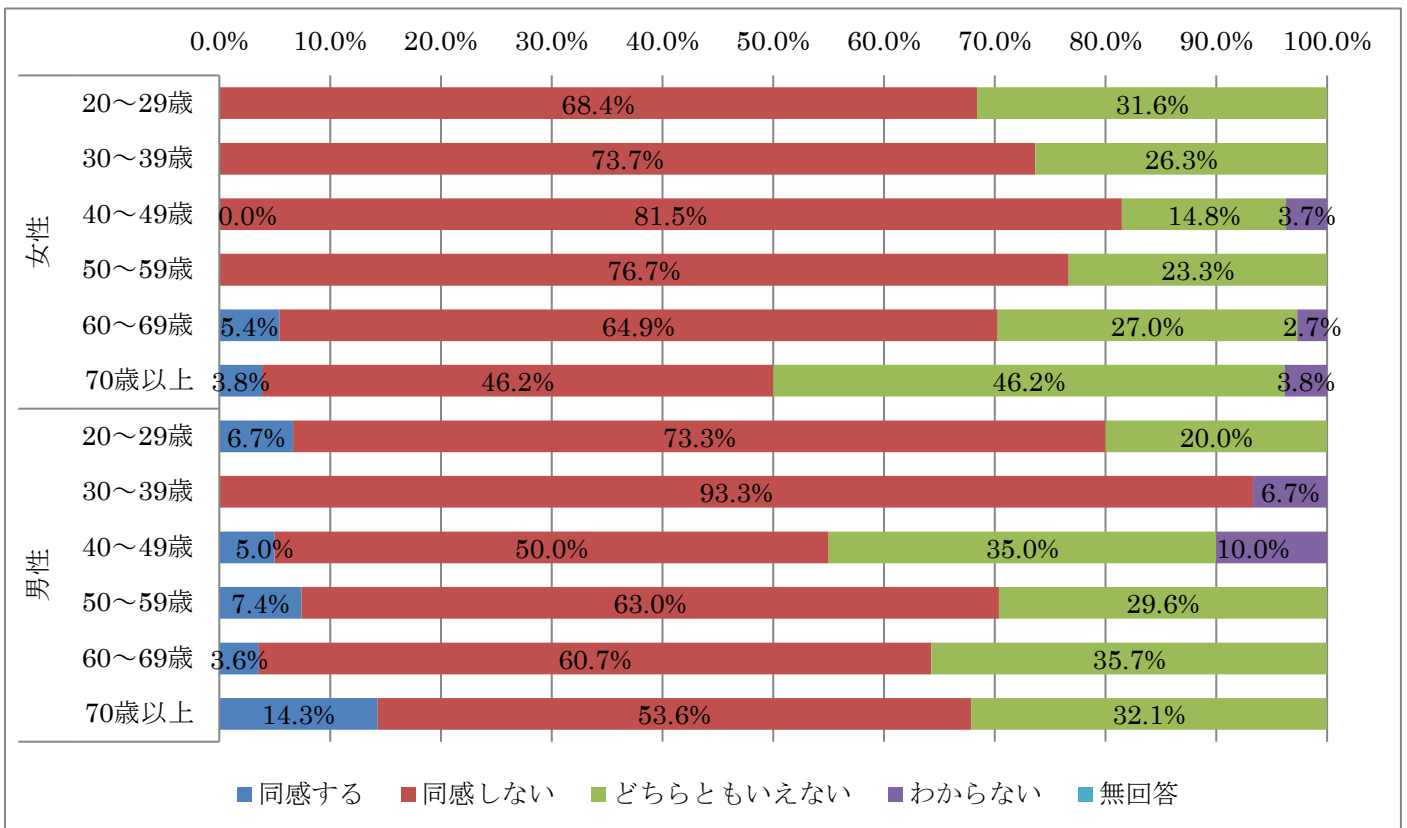
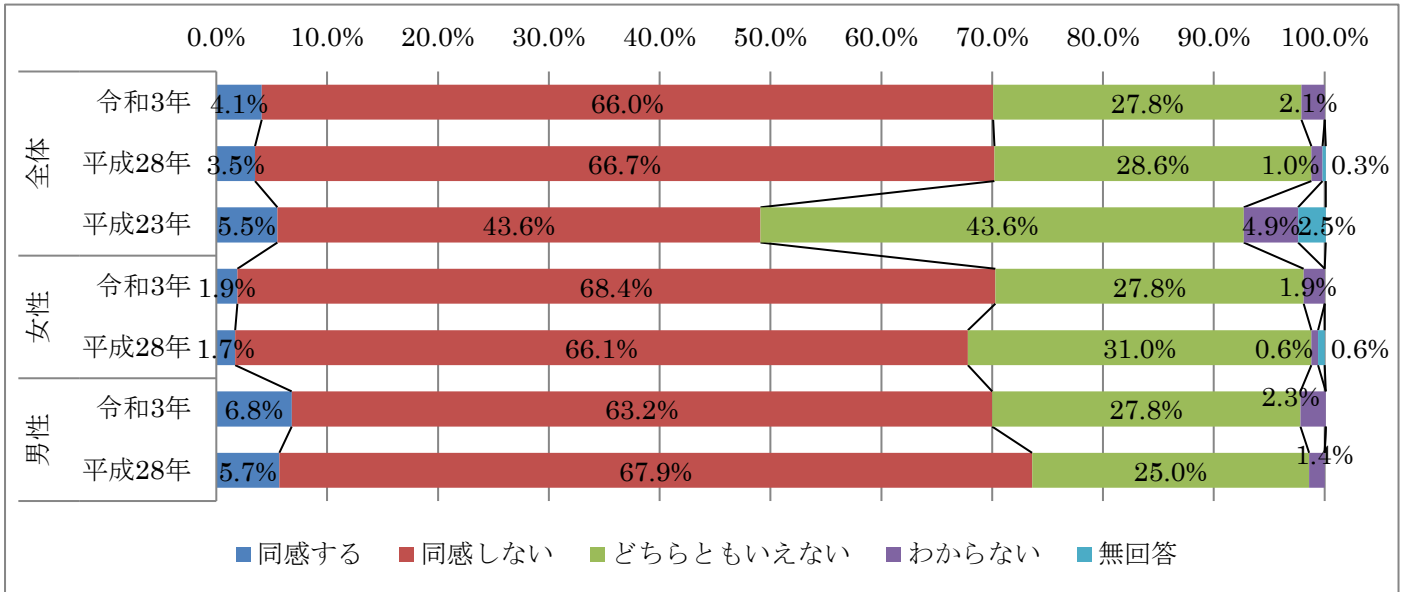


## 男女の意識について

### 問9. 「男は仕事、女は家庭」という考え方（固定的性別役割分担）について

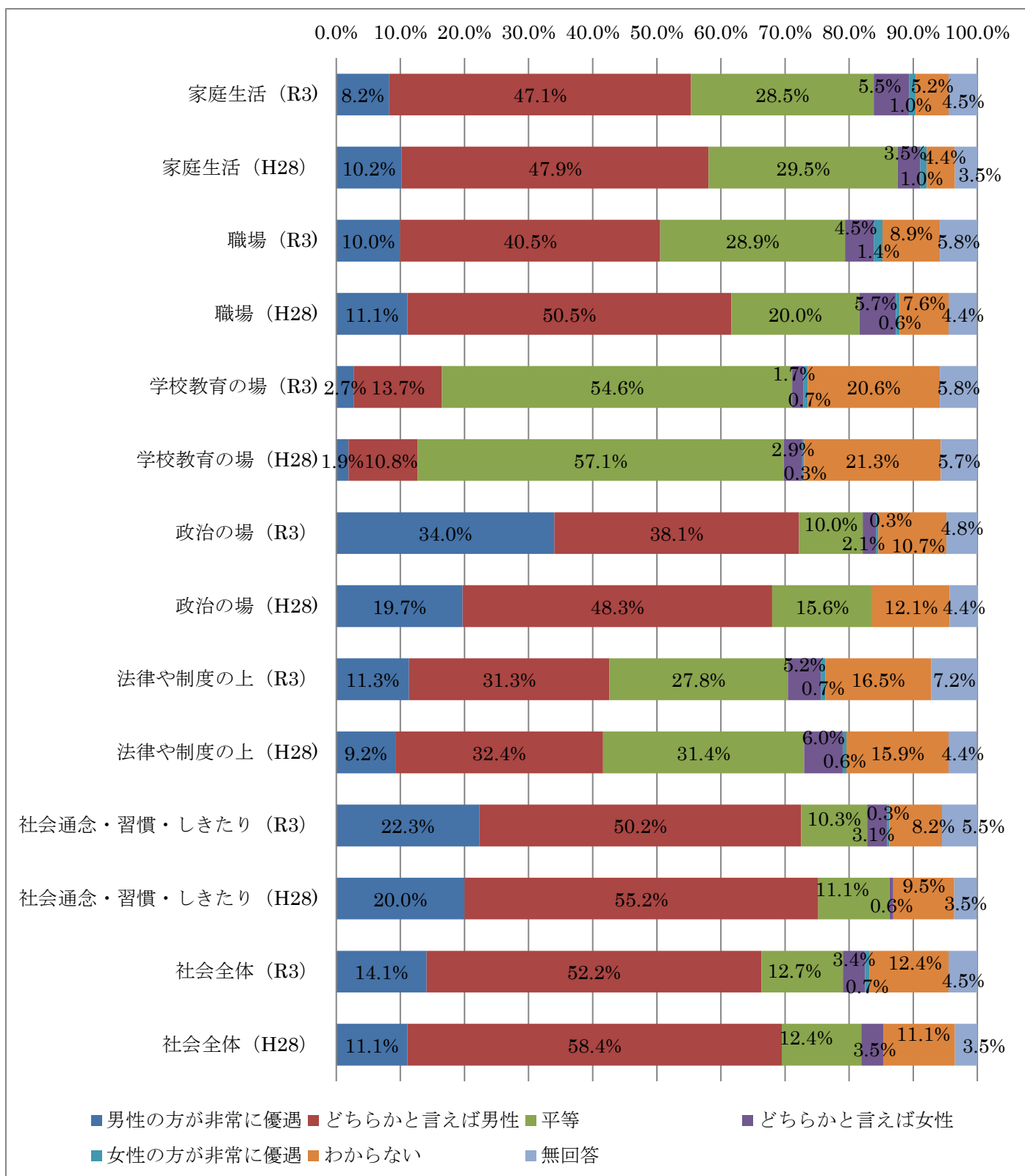
	全体		女性		男性	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
同感する	12	4.1	3	1.9	9	6.8
同感しない	192	66.0	108	68.4	84	63.2
どちらともいえない	81	27.8	44	27.8	37	27.8
わからない	6	2.1	3	1.9	3	2.3
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	291	100.0	158	100.0	133	100.0



全体では「同感しない」は66.0%となっており、今回の調査でも5割を超えました。性別でみる

と男女ともに「同感しない」が最も高くなっています（女性 68.4%、男性 63.2%）。「同感する」は女性 1.9%、男性 6.8%となっています。性・年齢別にみると、「同感しない」が最も高いのは女性 40代（81.5%）、男性 30代（93.3%）となっています。

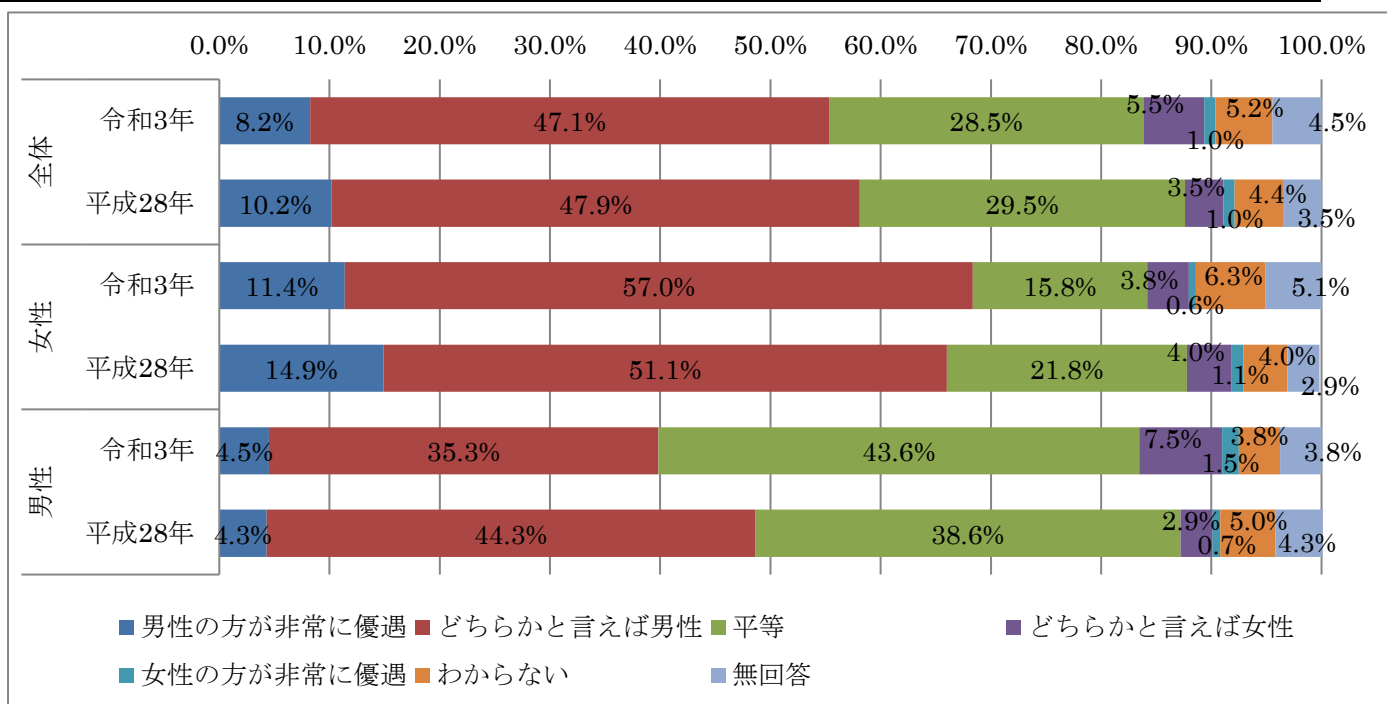
### 問10. 男女の地位の平等感



「平等である」と回答した割合が最も高いのは、「学校教育の場（54.6%）」です。「学校教育の場」、「法律や制度の上」以外は、いずれも「男性の方が優遇されている」と回答した割合が5割以上を占めています。

a. 家庭生活（単位：％）

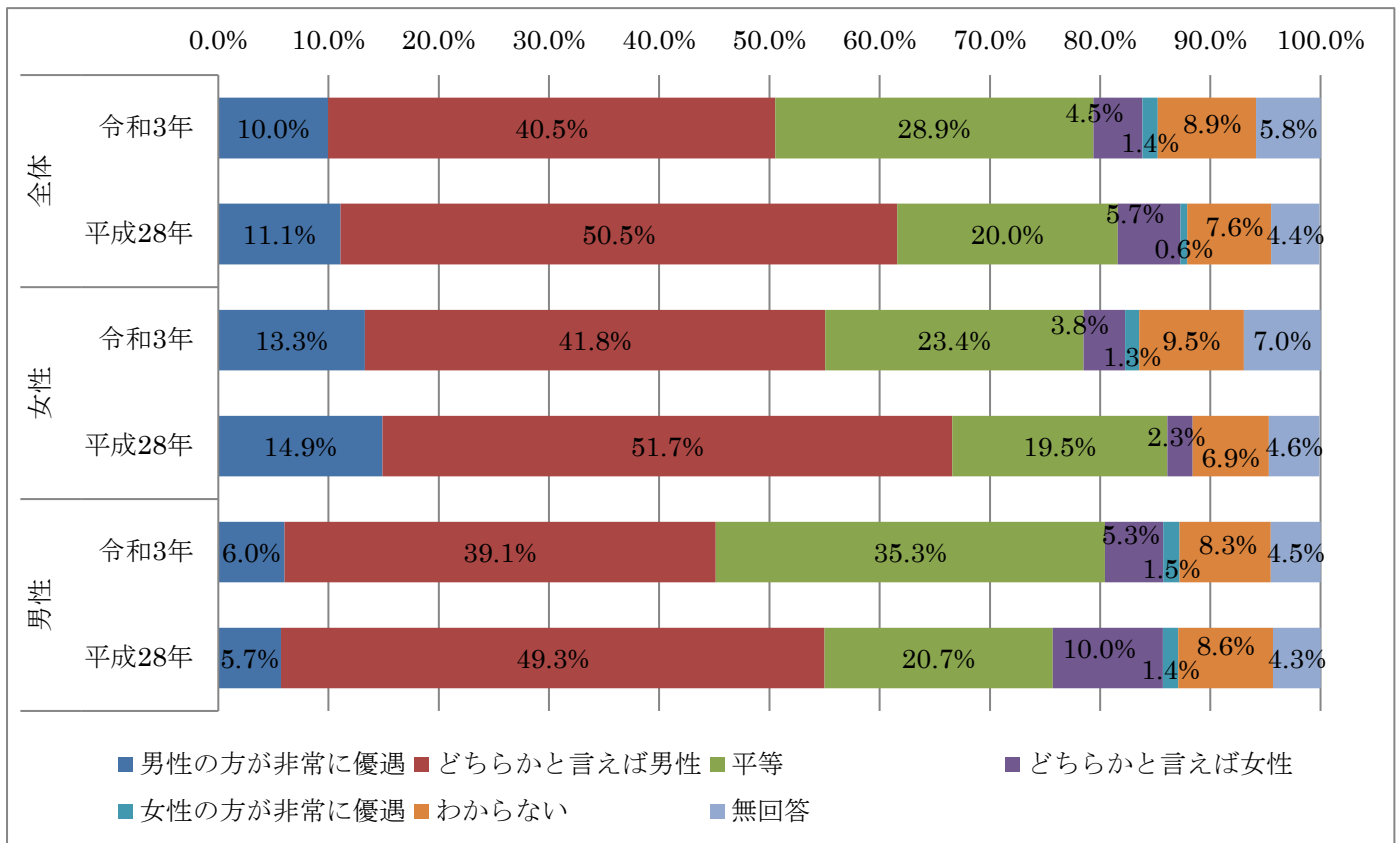
		男性の方が非常に 優遇	どちらかといえば 男性の方が優遇	平等である	どちらかといえば 女性の方が優遇	女性の方が非常に 優遇	わからない	無回答
全体	令和3年	8.2	47.1	28.5	5.5	1.0	5.2	4.5
	平成28年	10.2	47.9	29.5	3.5	1.0	4.4	3.5
女性	令和3年	11.4	57.0	15.8	3.8	0.6	6.3	5.1
	平成28年	14.9	51.1	21.8	4.0	1.1	4.0	2.9
男性	令和3年	4.5	35.3	43.6	7.5	1.5	3.8	3.8
	平成28年	4.3	44.3	38.6	2.9	0.7	5.0	4.3



全体では、男性の方が優遇されていると回答した割合が最も高くなっています（55.3%）。前回と比較すると、男性の方が優遇されていると回答した割合は減少しています。性別で見ると、「平等である」と回答した割合は、男性が43.6%、女性が15.8%と、27.8ポイントの差がありました。

b. 職場（単位：％）

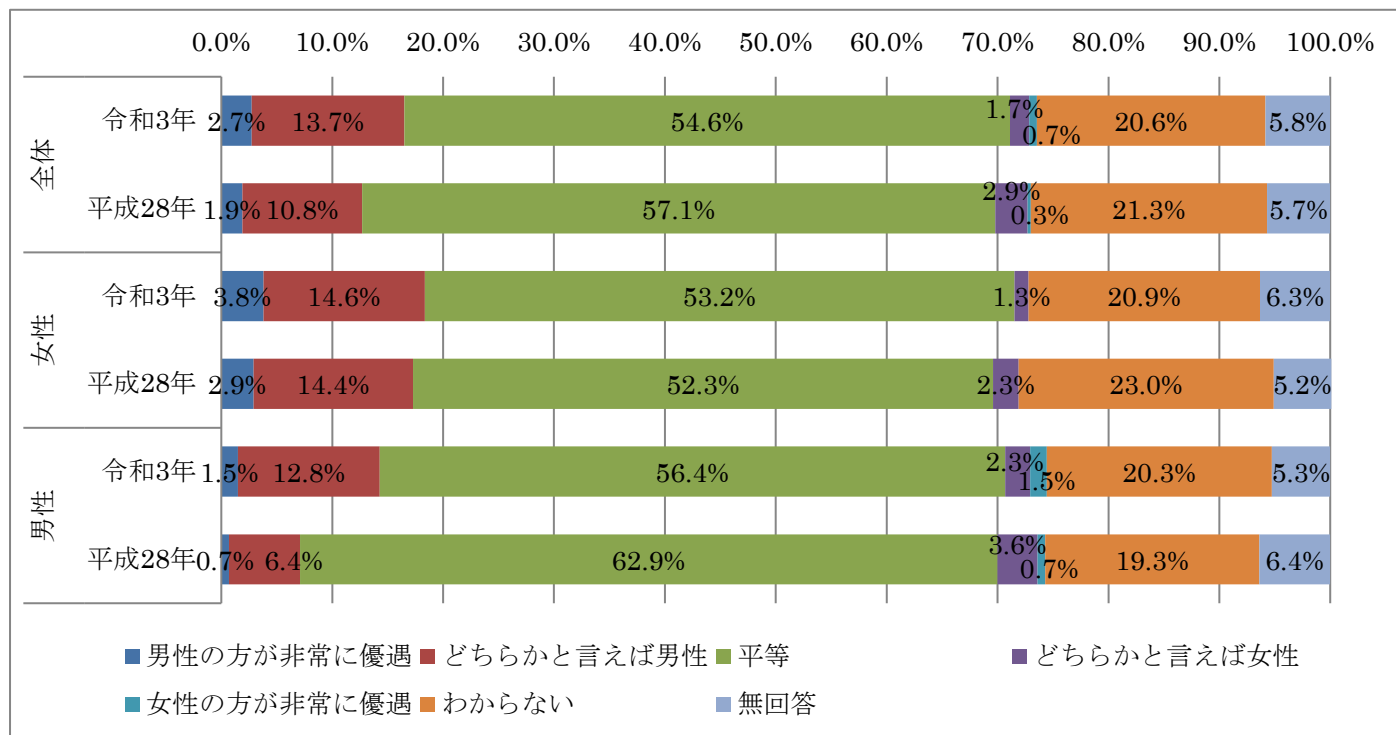
		男性の方が非常に 優遇	どちらかといえば 男性の方が優遇	平等である	どちらかといえば 女性の方が優遇	女性の方が非常に 優遇	わからない	無回答
全体	令和3年	10.0	40.5	28.9	4.5	1.4	8.9	5.8
	平成28年	11.1	50.5	20.0	5.7	0.6	7.6	4.4
女性	令和3年	13.3	41.8	23.4	3.8	1.3	9.5	7.0
	平成28年	14.9	51.7	19.5	2.3	0.0	6.9	4.6
男性	令和3年	6.0	39.1	35.3	5.3	1.5	8.3	4.5
	平成28年	5.7	49.3	20.7	10.0	1.4	8.6	4.3



全体では、男性の方が優遇されていると回答した割合が最も高くなっています（50.5%）。前回と比較すると、男性の方が優遇されていると回答した割合は減少しています。性別で見ると、「平等である」と回答した割合は、男性が35.3%、女性が23.4%と、11.9ポイントの差がありました。

c. 学校教育の場 単位 (%)

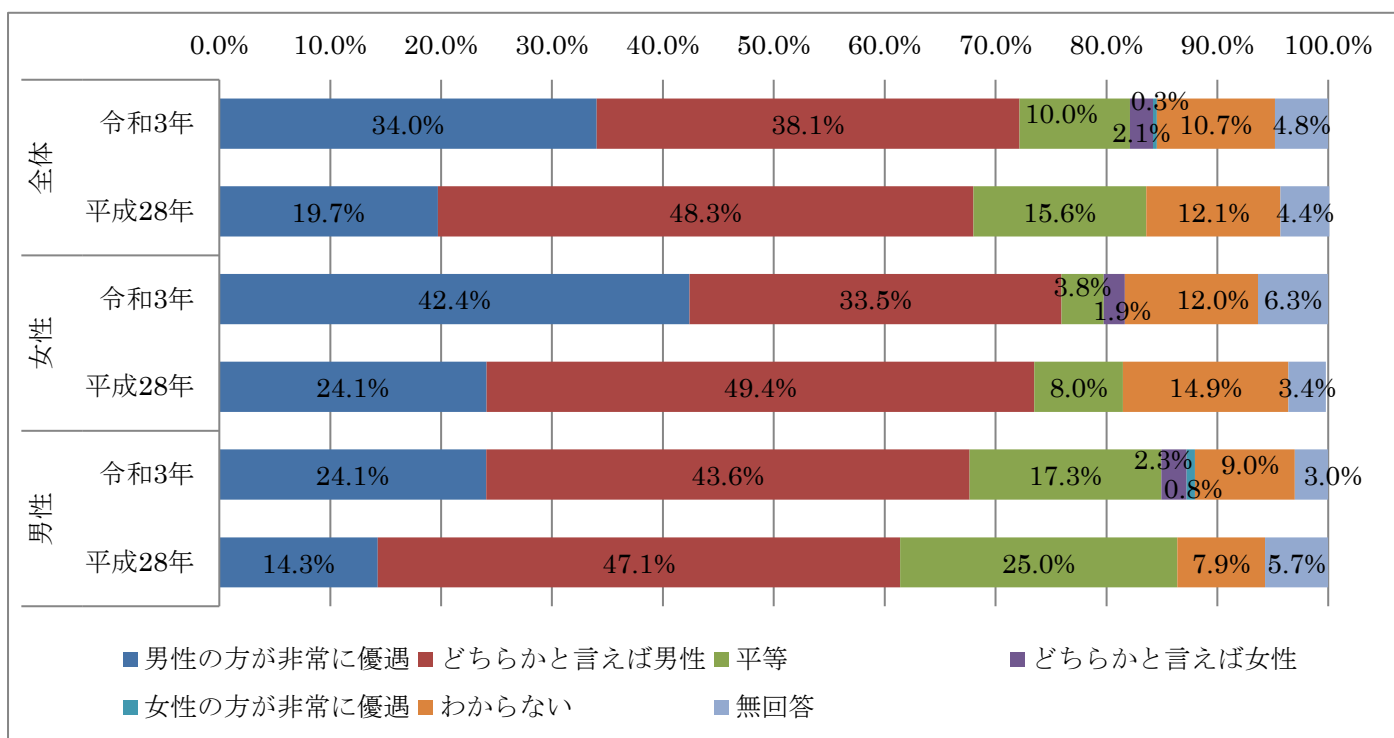
		男性の方が非常に 優遇	どちらかといえば 男性の方が優遇	平等である	どちらかといえば 女性の方が優遇	女性の方が非常に 優遇	わからない	無回答
全体	令和3年	2.7	13.7	54.6	1.7	0.7	20.6	5.8
	平成28年	1.9	10.8	57.1	2.9	0.3	21.3	5.7
女性	令和3年	3.8	14.6	53.2	1.3	0.0	20.9	6.3
	平成28年	2.9	14.4	52.3	2.3	0.0	23.0	5.2
男性	令和3年	1.5	12.8	56.4	2.3	1.5	20.3	5.3
	平成28年	0.7	6.4	62.9	3.6	0.7	19.3	6.4



全体では、「平等である」と回答した割合が最も高くなっています (54.6%)。前回と比較すると、「平等である」と回答した割合は減少しています。

d. 政治の場 (単位：%)

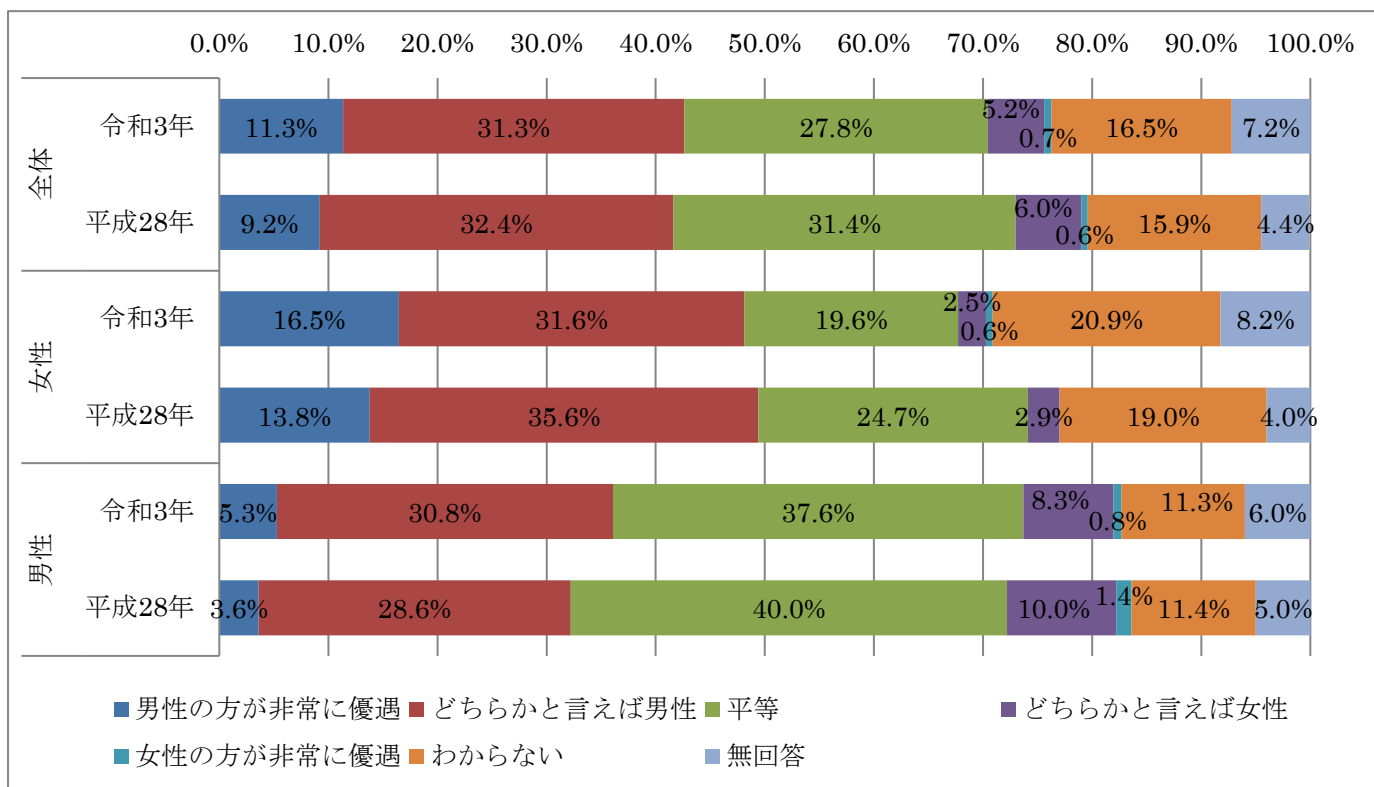
		男性の方が非常に 優遇	どちらかといえば 男性の方が優遇	平等である	どちらかといえば 女性の方が優遇	女性の方が非常に 優遇	わからない	無回答
全体	令和3年	34.0	38.1	10.0	2.1	0.3	10.7	4.8
	平成28年	19.7	48.3	15.6	0.0	0.0	12.1	4.4
女性	令和3年	42.4	33.5	3.8	1.9	0.0	12.0	6.3
	平成28年	24.1	49.4	8.0	0.0	0.0	14.9	3.4
男性	令和3年	24.1	43.6	17.3	2.3	0.8	9.0	3.0
	平成28年	14.3	47.1	25.0	0.0	0.0	7.9	5.7



全体では、男性の方が優遇されていると回答した割合が最も高くなっています（72.1%）。前回と比較すると、男性の方が優遇されていると回答した割合は増加しています。性別で見ると、「平等である」と回答した割合は、男性が17.3%、女性が3.8%と、13.5ポイントの差がありました。

e. 法律・制度の上で (単位：%)

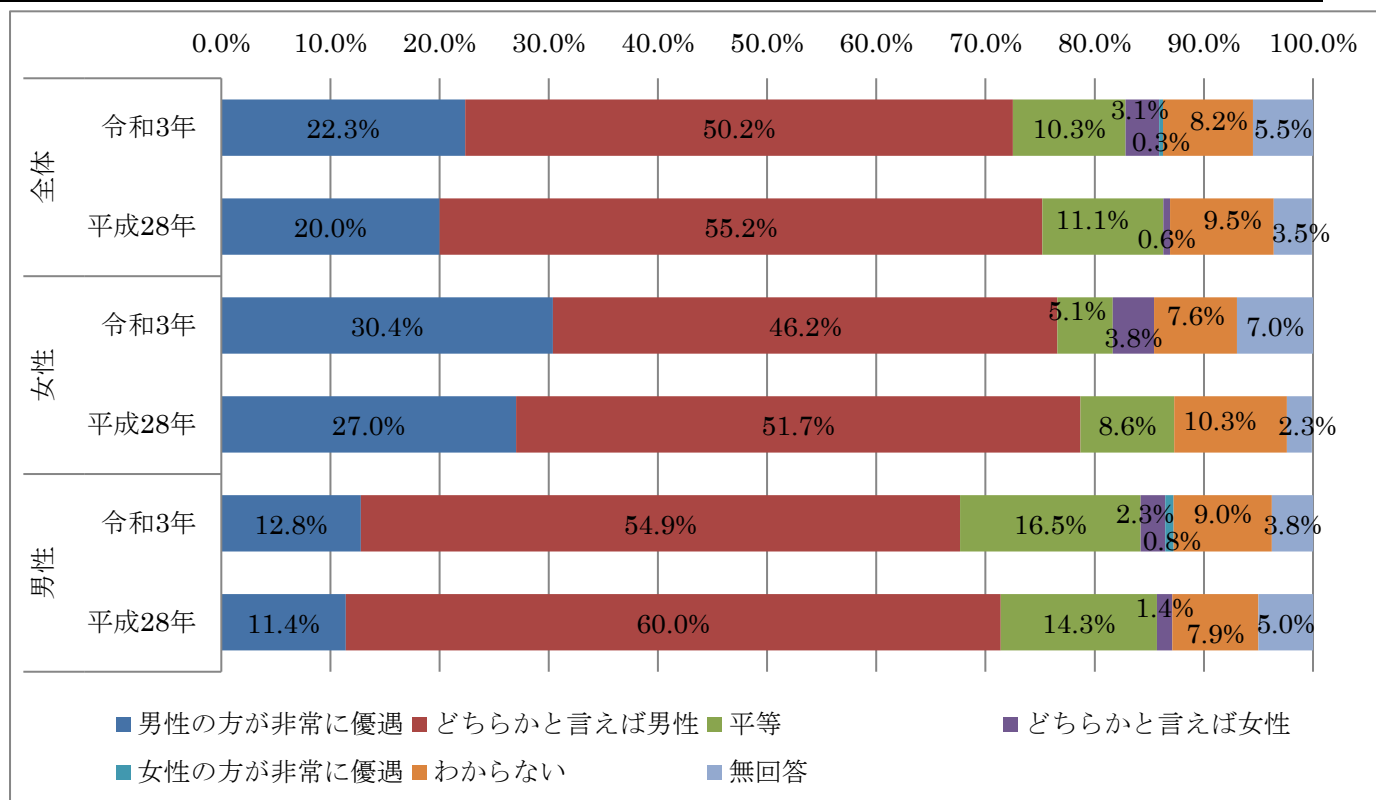
		男性の方が非常に 優遇	どちらかといえば 男性の方が優遇	平等である	どちらかといえば 女性の方が優遇	女性の方が非常に 優遇	わからない	無回答
全体	令和3年	11.3	31.3	27.8	5.2	0.7	16.5	7.2
	平成28年	9.2	32.4	31.4	6.0	0.6	15.9	4.4
女性	令和3年	16.5	31.6	19.6	2.5	0.6	20.9	8.2
	平成28年	13.8	35.6	24.7	2.9	0.0	19.0	4.0
男性	令和3年	5.3	30.8	37.6	8.3	0.8	11.3	6.0
	平成28年	3.6	28.6	40.0	10.0	1.4	11.4	5.0



全体では、男性の方が優遇されていると回答した割合が最も高くなっています (42.6%)。前回と比較すると、男性の方が優遇されていると回答した割合は増加しています。性別で見ると、「平等である」と回答した割合は、男性が 37.6%、女性が 19.6%と、18.0 ポイントの差がありました。

f. 社会通念・習慣・しきたり

		男性の方が非常に 優遇	どちらかといえば 男性の方が優遇	平等である	どちらかといえば 女性の方が優遇	女性の方が非常に 優遇	わからない	無回答
全体	令和3年	22.3	50.2	10.3	3.1	0.3	8.2	5.5
	平成28年	20.0	55.2	11.1	0.6	0.0	9.5	3.5
女性	令和3年	30.4	46.2	5.1	3.8	0.0	7.6	7.0
	平成28年	27.0	51.7	8.6	0.0	0.0	10.3	2.3
男性	令和3年	12.8	54.9	16.5	2.3	0.8	9.0	3.8
	平成28年	11.4	60.0	14.3	1.4	0.0	7.9	5.0

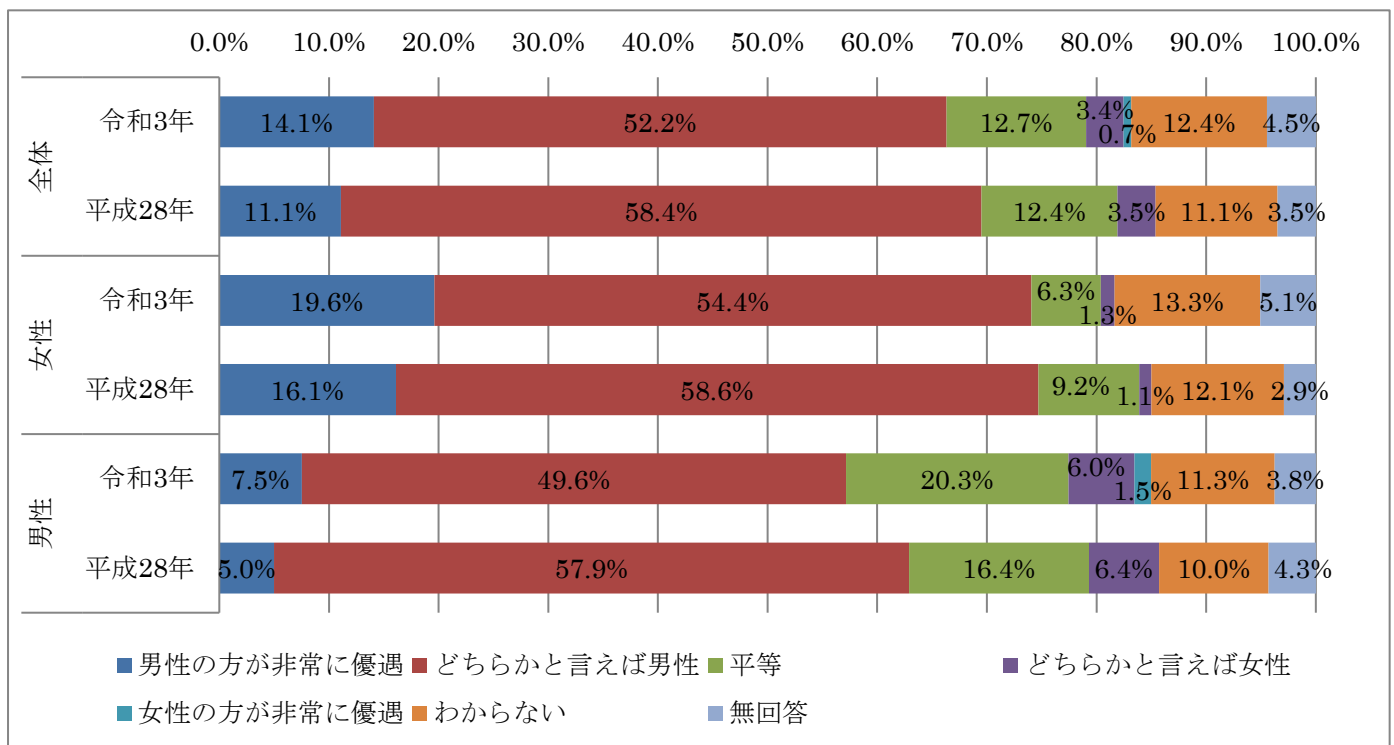


全体では、男性の方が優遇されていると回答した割合が最も高くなっています（72.5%）。前回と比較すると、男性の方が優遇されていると回答した割合は減少しています。性別で見ると、「平等である」と回答した割合は、男性が16.5%、女性が5.1%と、11.4ポイントの差がありました。



g. 社会全体

		男性の方が非常に 優遇	どちらかといえば 男性の方が優遇	平等である	どちらかといえば 女性の方が優遇	女性の方が非常に 優遇	わからない	無回答
全体	令和3年	14.1	52.2	12.7	3.4	0.7	12.4	4.5
	平成28年	11.1	58.4	12.4	3.5	0.0	11.1	3.5
女性	令和3年	19.6	54.4	6.3	1.3	0.0	13.3	5.1
	平成28年	16.1	58.6	9.2	1.1	0.0	12.1	2.9
男性	令和3年	7.5	49.6	20.3	6.0	1.5	11.3	3.8
	平成28年	5.0	57.9	16.4	6.4	0.0	10.0	4.3

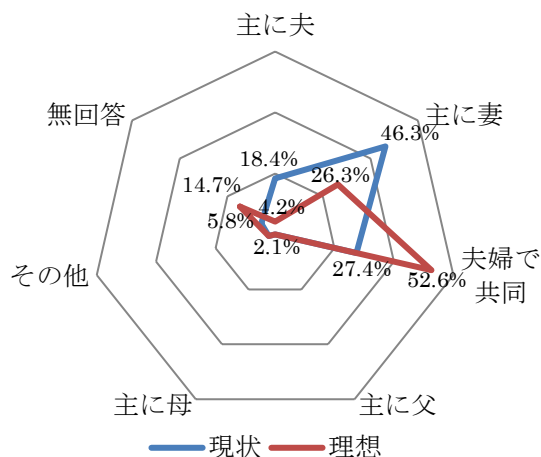


全体では、男性の方が優遇されていると回答した割合が最も高くなっています（66.3%）。前回と比較すると、男性の方が優遇されていると回答した割合は減少しています。性別で見ると、「平等である」と回答した割合は、男性が20.3%、女性が6.3%と、14.0ポイントの差がありました。

## 問11. 夫婦の役割分担について

### a. 家計の管理

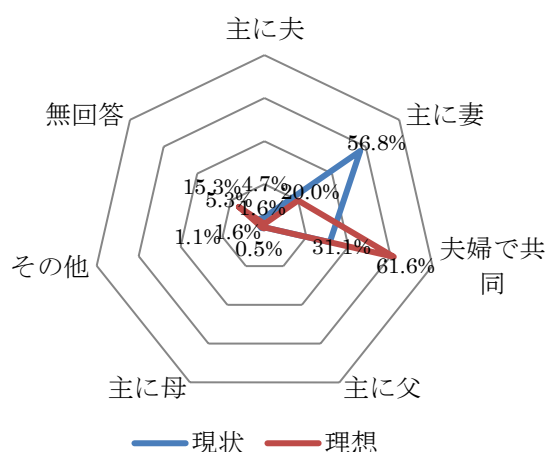
	現状		理想	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
主に夫	35	18.4	8	4.2
主に妻	88	46.3	50	26.3
夫婦で共同	52	27.4	100	52.6
主に父	0	0.0	0	0.0
主に母	0	0.0	0	0.0
その他	4	2.1	4	2.1
無回答	11	5.8	28	14.7
合計	190	100.0	190	100.0



現状で最も高いのは「主に妻」46.3%、理想で最も高いのは「夫婦で共同」52.6%となっている。

### b. 食料品などの買い物

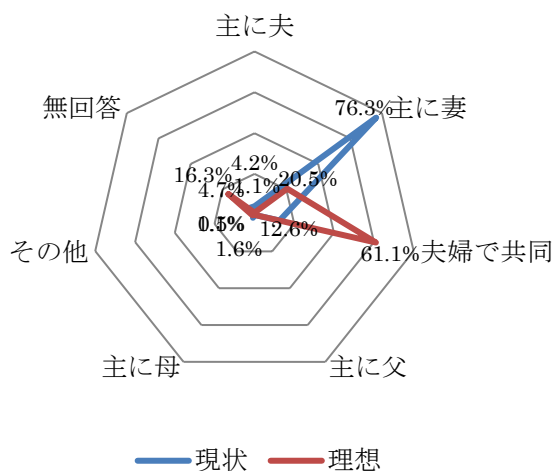
	現状		理想	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
主に夫	9	4.7	3	1.6
主に妻	108	56.8	38	20.0
夫婦で共同	59	31.1	117	61.6
主に父	0	0.0	0	0.0
主に母	1	0.5	1	0.5
その他	3	1.6	2	1.1
無回答	10	5.3	29	15.3
合計	190	100.0	190	100.0



現状で最も高いのは「主に妻」56.8%、理想で最も高いのは「夫婦で共同」61.6%となっている。

### c. 食事のしたく

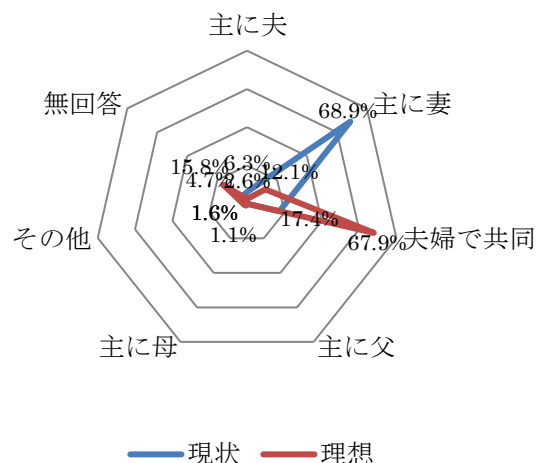
	現状		理想	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
主に夫	8	4.2	2	1.1
主に妻	145	76.3	39	20.5
夫婦で共同	24	12.6	116	61.1
主に父	0	0.0	0	0.0
主に母	3	1.6	0	0.0
その他	1	0.5	2	1.1
無回答	9	4.7	31	16.3
合計	190	100.0	190	100.0



現状で最も高いのは「主に妻」76.3%、理想で最も高いのは「夫婦で共同」61.1%となっている。

#### d. 食事の片付け

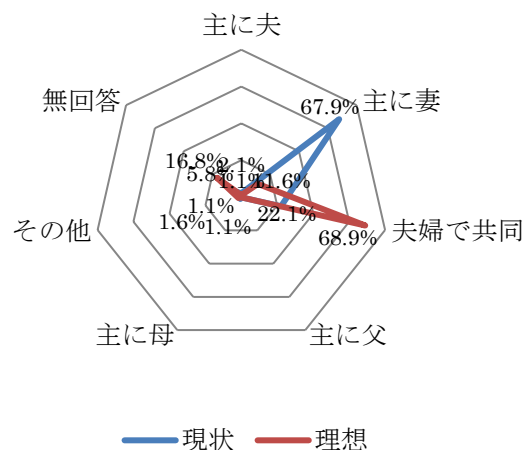
	現状		理想	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
主に夫	12	6.3	5	2.6
主に妻	131	68.9	23	12.1
夫婦で共同	33	17.4	129	67.9
主に父	0	0.0	0	0.0
主に母	2	1.1	0	0.0
その他	3	1.6	3	1.6
無回答	9	4.7	30	15.8
合計	190	100.0	190	100.0



現状で最も高いのは「主に妻」68.9%、理想で最も高いのは「夫婦で共同」67.9%となっている。

#### e. 掃除・洗濯

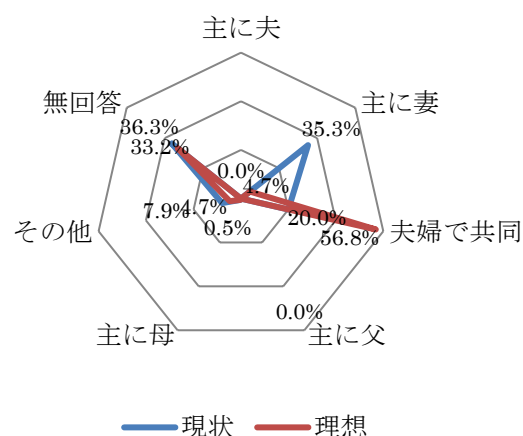
	現状		理想	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
主に夫	4	2.1	2	1.1
主に妻	129	67.9	22	11.6
夫婦で共同	42	22.1	131	68.9
主に父	0	0.0	0	0.0
主に母	2	1.1	0	0.0
その他	2	1.1	3	1.6
無回答	11	5.8	32	16.8
合計	190	100.0	190	100.0



現状で最も高いのは「主に妻」67.9%、理想で最も高いのは「夫婦で共同」68.9%となっている。

#### f. 乳幼児の世話・育児

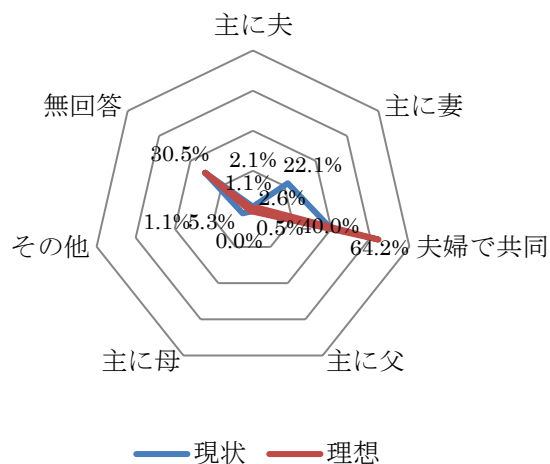
	現状		理想	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
主に夫	0	0.0	0	0.0
主に妻	67	35.3	9	4.7
夫婦で共同	38	20.0	108	56.8
主に父	0	0.0	0	0.0
主に母	1	0.5	1	0.5
その他	15	7.9	9	4.7
無回答	69	36.3	63	33.2
合計	190	100.0	190	100.0



現状で最も高いのは「主に妻」35.3%、理想で最も高いのは「夫婦で共同」56.8%となっている。

### g. 子どもの教育としつけ

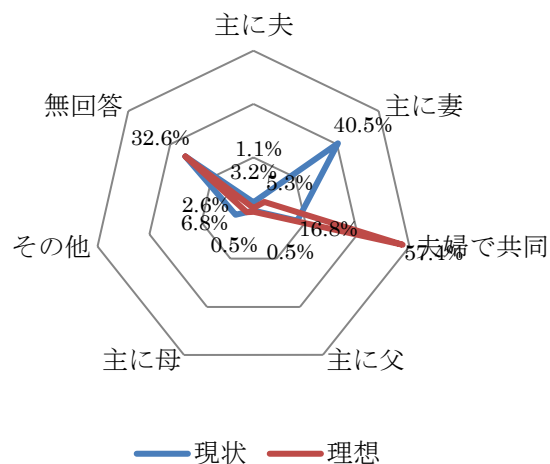
	現状		理想	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
主に夫	4	2.1	2	1.1
主に妻	42	22.1	5	2.6
夫婦で共同	76	40.0	122	64.2
主に父	0	0.0	1	0.5
主に母	0	0.0	0	0.0
その他	10	5.3	2	1.1
無回答	58	30.5	58	30.5
合計	190	100.0	190	100.0



現状で最も高いのは「夫婦で共同」40.0%、理想で最も高いのは「夫婦で共同」64.2%となっている。

### h. PTAへの出席

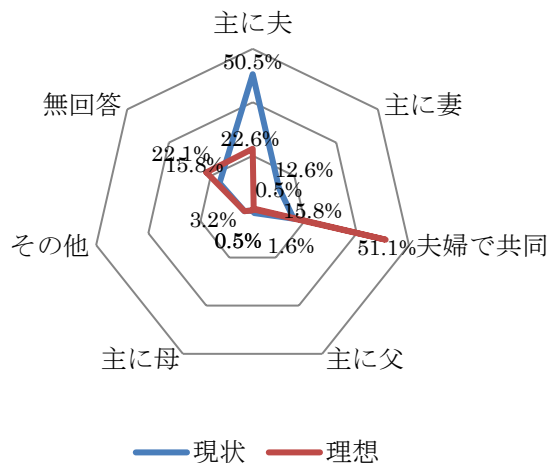
	現状		理想	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
主に夫	6	3.2	2	1.1
主に妻	77	40.5	10	5.3
夫婦で共同	32	16.8	109	57.4
主に父	0	0.0	1	0.5
主に母	0	0.0	1	0.5
その他	13	6.8	5	2.6
無回答	62	32.6	62	32.6
合計	190	100.0	190	100.0



現状で最も高いのは「主に妻」40.5%、理想で最も高いのは「夫婦で共同」57.4%となっている。

### i. 町内行事等への参加

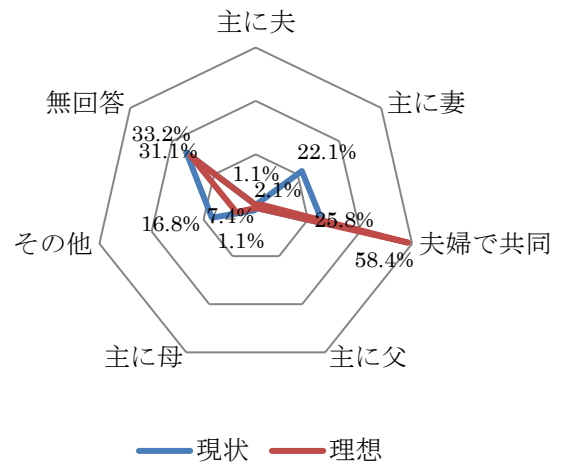
	現状		理想	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
主に夫	96	50.5	43	22.6
主に妻	24	12.6	1	0.5
夫婦で共同	30	15.8	97	51.1
主に父	3	1.6	0	0.0
主に母	1	0.5	1	0.5
その他	6	3.2	6	3.2
無回答	30	15.8	42	22.1
合計	190	100.0	190	100.0



現状で最も高いのは「主に夫」50.5%、理想で最も高いのは「夫婦で共同」51.1%となっている。

## j. 高齢者の世話・介護

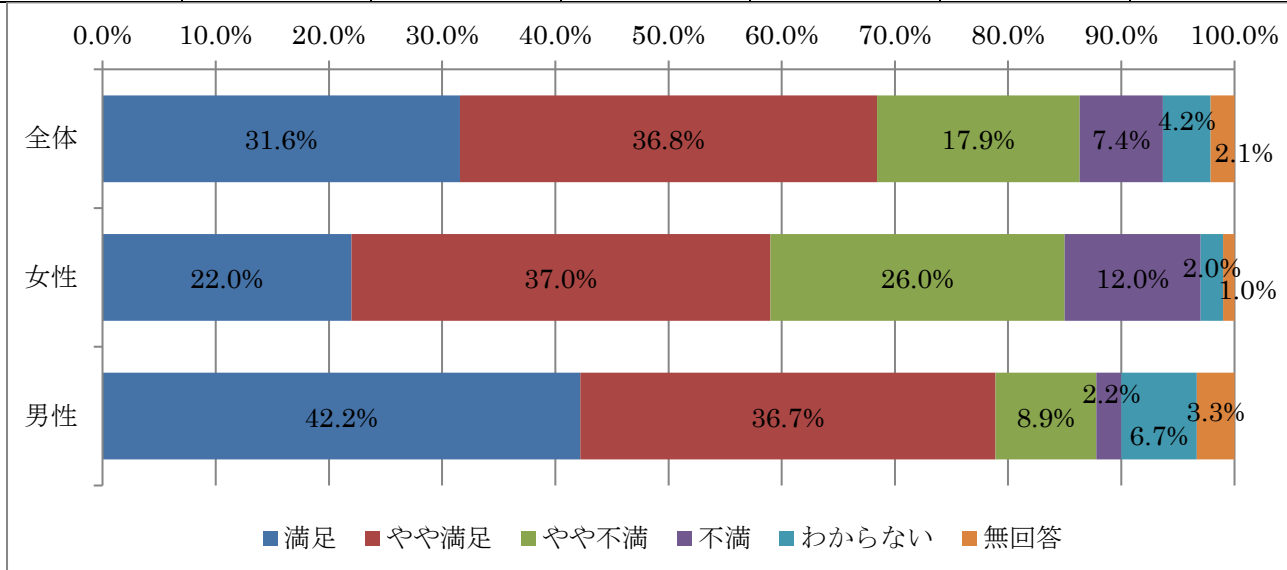
	現状		理想	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
主に夫	2	1.1	2	1.1
主に妻	42	22.1	4	2.1
夫婦で共同	49	25.8	111	58.4
主に父	0	0.0	0	0.0
主に母	2	1.1	0	0.0
その他	32	16.8	14	7.4
無回答	63	33.2	59	31.1
合計	190	100.0	190	100.0



現状で最も高いのは「夫婦で共同」25.8%、理想で最も高いのは「夫婦で共同」58.4%となっている。

### 問12. 夫婦の役割分担について

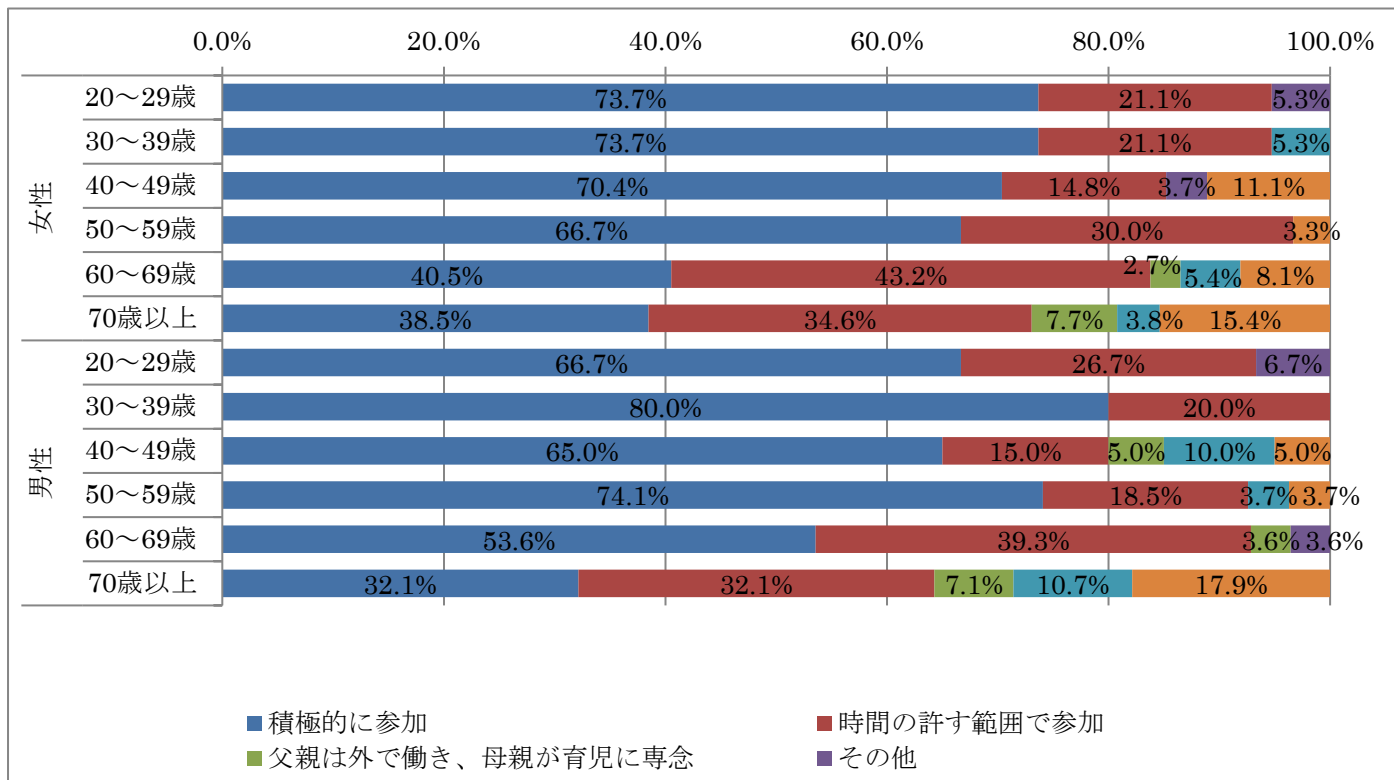
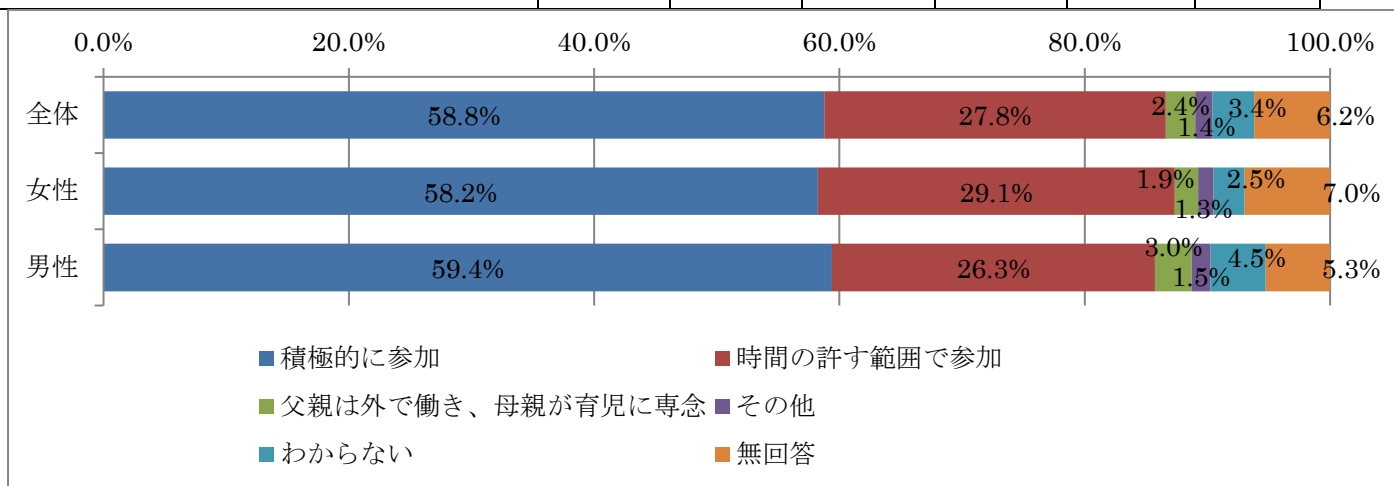
	全体		女性		男性	
	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)
満足	60	31.6	22	22.0	38	42.2
やや満足	70	36.8	37	37.0	33	36.7
やや不満	34	17.9	26	26.0	8	8.9
不満	14	7.4	12	12.0	2	2.2
わからない	8	4.2	2	2.0	6	6.7
無回答	4	2.1	1	1.0	3	3.3
合計	190	100.0	100	100.0	90	100.0



性別で満足度をみると、女性は59.0%、男性は78.9%と19.9ポイントの差があります。また不満足度をみると、男性は11.1%、女性は38.0%と、26.9ポイントの差があります。

### 問13. 父親の育児参加について

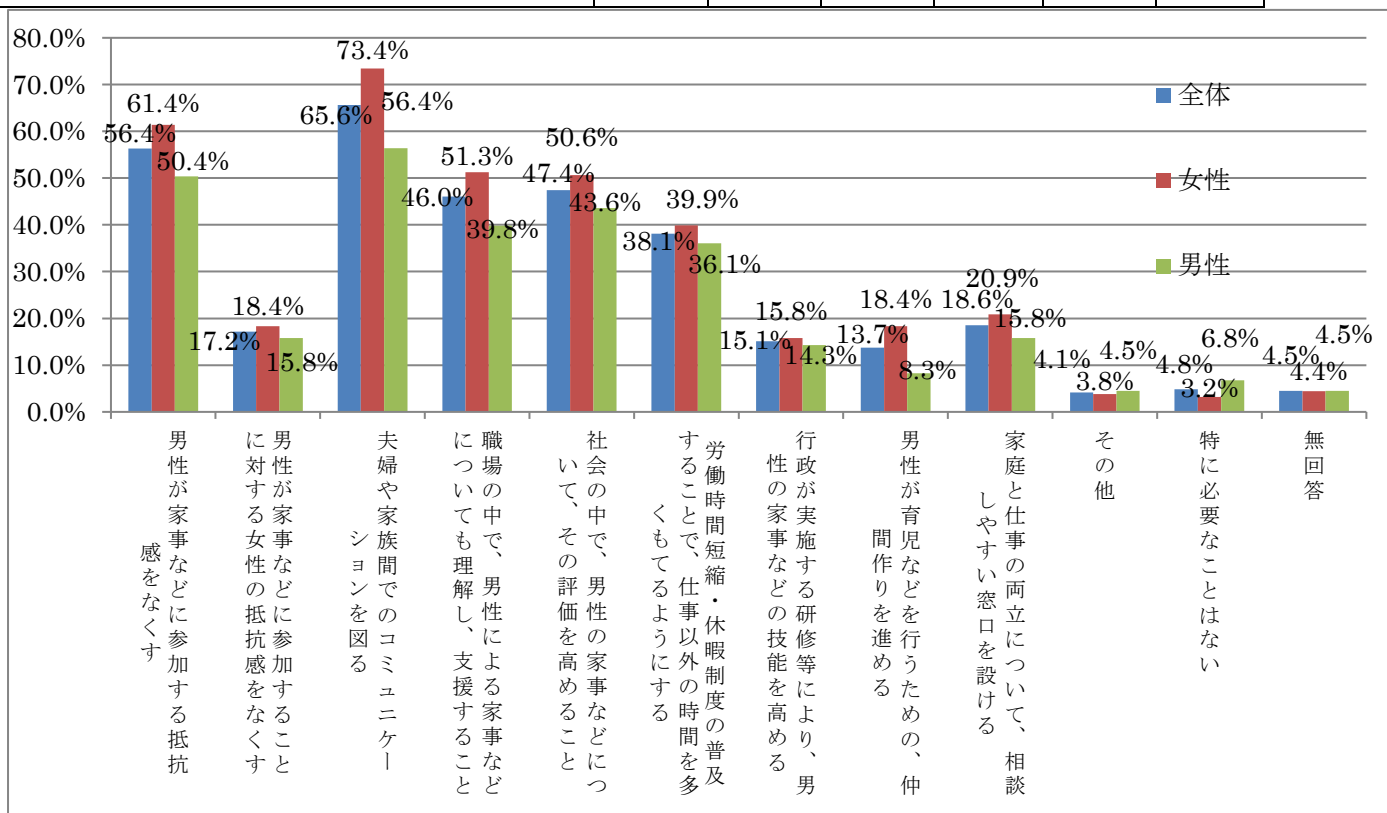
	全体		女性		男性	
	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)
積極的に参加する	171	58.8	92	58.2	79	59.4
時間の許す範囲で参加する	81	27.8	46	29.1	35	26.3
父親は外で働き、母親が育児に専念	7	2.4	3	1.9	4	3.0
その他	4	1.4	2	1.3	2	1.5
わからない	10	3.4	4	2.5	6	4.5
無回答	18	6.2	11	7.0	7	5.3
合計	291	100.0	158	100.0	133	100.0



全体で見ると、最も高いのは「積極的に参加」58.8%となっています。性別でも「積極的に参加」が男性（59.4%）、女性（58.2%）ともに最も高くなっています。年代別で「積極的に参加」が男性30代（80.0%）、女性20代・30代（73.7%）と最も高くなっています。また男女ともに20代～50代までは「積極的に参加」が最も高くなっている。

### 問14. 男性が女性と共に家庭生活や地域活動等へ参加するために必要なこと

	全体		女性		男性	
	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)
男性が家事に参加することへの男性自身の抵抗感をなくすこと	164	56.4	97	61.4	67	50.4
男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	50	17.2	29	18.4	21	15.8
夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	191	65.6	116	73.4	75	56.4
職場の中で、男性による家事、育児、介護、地域活動についても理解し、支援すること	134	46.0	81	51.3	53	39.8
社会の中で、男性による家事、育児、介護、地域活動についても、その評価を高めること	138	47.4	80	50.6	58	43.6
労働時間の短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間を多くもてるようにすること	111	38.1	63	39.9	48	36.1
行政が実施する研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること	44	15.1	25	15.8	19	14.3
男性が育児や介護、地域活動を行なうための、仲間（ネットワーク）作りを進めること	40	13.7	29	18.4	11	8.3
家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	54	18.6	33	20.9	21	15.8
その他	12	4.1	6	3.8	6	4.5
特に必要なことはない	14	4.8	5	3.2	9	6.8
無回答	13	4.5	7	4.4	6	4.5
回答者数	291		158		133	



全体では「夫婦や家族間でのコミュニケーションを図る」(65.6%)、次いで「男性が家事に参加する抵抗感をなくす」(56.4%)、「社会の中で、男性の家事などについて、その評価を高めること」(47.4%)の割合が高くなっています。性別では男女ともに「夫婦や家族間でのコミュニケーションを図る」(男性56.4%、女性73.4%)が最も高くなっています。